

公 共

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2025 年度施行

アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事

留萌市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
01 適用
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
 - 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
 - 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特記仕様書

06 現場環境改善(選択)土木一般

1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。

2 現場環境改善の実施内容は、各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）のうち合計5項目を基本として次の項目から選択すること。

なお、具体的な実施内容や実施時期については、施工計画書を提出する時に工事監督員と協議すること。

(1) 仮設備関係

- (1) 用水・電力等の供給設備の充実
- (2) 緑化・花壇
- (3) ライトアップ施設
- (4) 見学路及び椅子の設置
- (5) 昇降設備の充実
- (6) 環境負荷の低減

(2) 営繕関係

- (1) 現場事務所・監督詰所の快適化
- (2) 労働者宿舎の快適化
- (3) デザインボックス（交通誘導警備員待機室）の快適化
- (4) 現場休憩所の快適化
- (5) 健康関連設備及び厚生施設の充実等

(3) 安全関係

- (1) 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
- (2) 盗難防止対策（警報機等）
- (3) 避暑・防寒対策

(4) 地域連携

- (1) 完成予想図
- (2) 工法説明図
- (3) 工事工程表
- (4) デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
- (5) 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
- (6) 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営

特記仕様書

- (7) パンフレット・工法説明ビデオ
- (8) 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）
- (9) 社会貢献

3 工事完了時には、現場環境改善の実施状況が確認できる写真を提出すること。

10 快適トイレ

1 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

「快適トイレに求める機能」

- （１）洋式便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付きを含む）
- （３）臭い逆流防止機能
- （４）容易に開かない施錠機能
- （５）照明設備
- （６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg以上とする）

「付属品として備えるもの」

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
- （９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗器
- （１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

「推奨する仕様、付属品」

- （１２）室内寸法900×900mm以上（面積ではない）
- （１３）擬音装置（機能を含む）
- （１４）着替え台
- （１５）臭気対策機能の多重化
- （１６）室内温度の調整が可能な設備
- （１７）小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

特記仕様書

2 快適トイレに要する費用

受注者は、上記 1 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員に提出することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

「快適トイレに求める機能（１）～（６）」及び「付属品として備えるもの（７）～（１１）」の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

3 快適トイレの導入に当たっての配慮事項について

建設現場で働く女性の活躍をサポートする取組みとして、快適トイレを導入する際は、以下の（１８）～（２３）に配慮することとする。

（１８）全般

女性トイレの設置に当たっては、あらかじめ建設現場で働く女性の意見を聞く。

（１９）設置位置

女性トイレと男性トイレや喫煙所は隣接して設置せず、一定の距離を確保する。

（２０）動線の配慮

男性トイレと女性トイレは入口を分ける等の動線の配慮をする。

（２１）ドアの向き

女性トイレのドアは、開けたら真正面ということのないよう、便座と直角の向きのドアを採用するなどの工夫をする。

（２２）照明

窓の大きさに応じて、中にいる人のシルエットが窓に映り込むことのないよう、照明をスポットライト式にするなどの工夫をする。

（２３）室温

トイレ内の室温を快適に保つため、冷暖房、扇風機等の設備を備え付ける等の配慮をする。

4 その他

快適トイレの手配が困難な場合は、監督員と協議の上、本条項の対象外とする。

11 熱中症対策

この工事においては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正（試行）」を行うことができる。

特記仕様書

当該補正を実施するかどうかは、入札後、発注者と受注者が協議の上、決定する。

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

04 非契約数量

工事数量総括表の単位及び数量が（ ）で表記されている数量（摘要を含む）は、契約事項とならない数量である。
ただし、契約数量に連動して概数の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

01 国道協議（24条申請）について

本工事において、一般国道231号に面した位置に出入口を計画しており、関係機関及び他部署と含めた協議を今後予定しているところである。

そのため協議内容の結果次第では国道敷地である歩道の切り下げを実施するものであり、それに係る費用について設計変更の対象とする。
なお監督員と変更に係る打合せをすること。

01 工期設定について

工期：2025年6月5日から2025年10月30日まで

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

- ①準備期間：30日間

特記仕様書

②後片付け期間：20日間

③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.68

※上記の他、特別に見込んでいる日数や特別に工期に影響のある事項があれば記載する。

※他工事との調整期間として、見込んでいる。

01 時間的制約を求められた場合の報告

当該工事の施工に当たり、関係機関・自治体等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には、工事監督員に報告すること。

04 市水道局との立会い

当該工事区間には留萌市上下水道課の水道管、下水道管が埋設されている。施工に先立ち、工事監督員から埋設占用物の参考図面を受領するとともに、その埋設位置、深さなどの詳細は必ず留萌市上下水道課に問い合わせを行い、必要に応じて立会等を求めること。

01 地下埋設物の管理者等との立会い

当該工事の施工に当たっては、地下埋設物の管理者等との現地立会を行い、当該物件の位置、深さ、保安対策等の打合せを行うこと。なお、「立会い打ち合わせ調書」等にその打ち合わせ内容と結果を記載して立会い者等に押印を求め、当該調書の写しを工事監督員に提出すること。

地上埋設物の管理者等との立会い

当該工事の施工に当たっては、地上埋設物の管理者等との現地立会を行い、当該物件の位置、深さ、保安対策等の打合せを行うこと。なお、「立会い打ち合わせ調書」等にその打ち合わせ内容と結果を記載して立会い者等に押印を求め、当該調書の写しを工事監督員に提出すること。

特記仕様書

01 中間検査

1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。

(1) 土木工事共通仕様書 第1編 第1章 1-1-1-23 表1-1によるもの。

(2) 次の項目については、段階確認(上記(1)以外)を実施する。

1. 掘削完了後の掘削床の幅

2. 砕石基礎の幅

3. 路盤工の幅、厚さ

4. 土工(掘削工)の際、土(岩)質の変化した時点

なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。

2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。

01 交通安全管理の仕様

交通安全管理については、設計図等に基づくものとする。

なお、地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

04 交通処理計画の提出

当該工事は公園内での施工のため交通規制は伴わない。但し国道に隣接しており運搬車両の出入りがあるため、交通処理は土木工事共通仕様書及び着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し工事監督員と協議すること。

特記仕様書

06 バリケード等の設置、誘導警備員の配置

当該工事箇所には、道の駅などが隣接しており、第三者が工事区域内へ侵入しないようフェンス・バリケード・保安灯を設置すること。また、配置については、北海道開発局保安施設設置標準図に基づき適正に配置すること。
設置箇所などは必要に応じて、監督員と協議すること。

01 発生土の搬出先

当該工事の発生土は、小平町農業振興(有)(片道運搬距離：13.4km)に搬出し、場内の定められた位置に荷卸し、数量管理または台数管理が行える状態とすること。また工事期間は適正に管理すること。
なおヤード利用詳細については、事前に工事監督員と協議すること。
積算上、全体のうちの10%分の処分費を計上している。
施工中、土質などの変更があれば、監督員と協議すること。

02 仮置き土の搬出先

当該工事の発生土は、旧JR留萌線敷地内(片道運搬距離：1.3km)に搬出し、場内の定められた位置に荷卸し、数量管理または台数管理が行える状態とすること。また工事期間は適正に管理すること。
なおヤード利用詳細については、事前に工事監督員と協議すること。
積算上、全体のうちの90%分の仮置きとして計上している。
施工中、土質などの変更があれば、監督員と協議すること。

02 コンクリート再生骨材について

- 1 コンクリート再生骨材を路盤用材料等に使用する場合の品質確保については、「土木工事共通仕様書」による。
- 2 コンクリート再生骨材の品質管理は、製造者の試験成績結果によることができる。
確認の頻度は、製造施設毎に年1回以上とする。ただし、品質に変動が見受けられる場合は、確認の頻度を増やすなど考慮すること。
なお、品質については、事前に確認すること。
- 3 コンクリート再生骨材を路盤等に使用する場合は、基本的に100%で使用するものとする。

特記仕様書

施工時期が確定した時点で、再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。

03 コンクリート再生骨材の使用（再生骨材単価が、再資源化施設渡し単価で設定されている地域）

当該工事におけるコンクリート再生骨材の使用については、次のとおりとする。

- 1 コンクリート再生骨材：0～40mm級（下層路盤）
- 2 コンクリート再生骨材：0～80mm級（凍上抑制層）
- 3 コンクリート再生骨材：0～40mm級（暗渠排水のフィルター材）
- 4 コンクリート再生骨材：0～80mm級（集水桝の基礎材）

また、再資源化施設については、コンクリート再生骨材：0～40mm級は貝森工業株式会社（片道運搬距離：4.4km、）、コンクリート再生骨材：0～80mm級は貝森工業株式会社（片道運搬距離：4.4km）を予定しているが、受注後ただちに再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。

01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

02 特定建設資材廃棄物の処理条件

分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊）は、次のとおり再資源化等を実施することとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること

特記仕様書

。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

1 アスファルト塊

- (1) 処分場所 :
- (2) 運搬距離 :
- (3) 処理方法 :
- (4) 受入条件 :

2 コンクリート塊

- (1) 処分場所 :
- (2) 運搬距離 :
- (3) 処理方法 :
- (4) 受入条件 :

03 建設副産物の処理条件

当該工事の施工により発生する建設副産物の処理については、次のとおりとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

1 建設汚泥

- (1) 処分場所 :
- (2) 運搬距離 :
- (3) 処理方法 :
- (4) 受入条件 :

特記仕様書

01 現場代理人の常駐義務緩和について

1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。

(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

(2) 建設工事の全部を一時中止している期間

(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(1) 兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。

(2) 兼務する建設工事の請負金額が4, 500万円（建築一式工事9, 000万円）未満であること。

(3) 兼務ができる工事は、原則3件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。

(4) 兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。

(5) 工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること（携帯電話や連絡責任者の配置）。

(6) 現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。

3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書（別途様式第1号）を、市長に提出するものとする。

02 完成図（出来形総括図）

完成図（出来形総括図）：別途定める作成要領に基づき、完成図等を作成し、成果品として提出すること。なお、これに係る

費用は共通仮設費[率分]のうち技術管理費に含まれている。

特 記 仕 様 書

01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

概数として扱う数量一覧表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事	当初	事業区分	公園緑地整備・改修		
					工事区分	基盤整備		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
基盤整備				式		1		
敷地造成工				式		1		
掘削工				式		1		
土砂等運搬			土質：土砂、運搬距離：D=13.4km	m3		140		概数
土砂等運搬			土質：土砂、運搬距離：D=1.3km	m3		1,300		概数
残土処理工				式		1		
整地			敷均し(ル-ズ)	m3		1,300		概数
残土等処分			処分費：有り	m3		140		概数
施設整備				式		1		
仮設工				式		1		
工事用道路工				式		1		
敷鉄板			22×1,524×6,096(mm)設置・撤去	m2		90		概数
共通仮設費				式		1		

概数として扱う数量一覧表

[illegible]

位 置 図

位置図

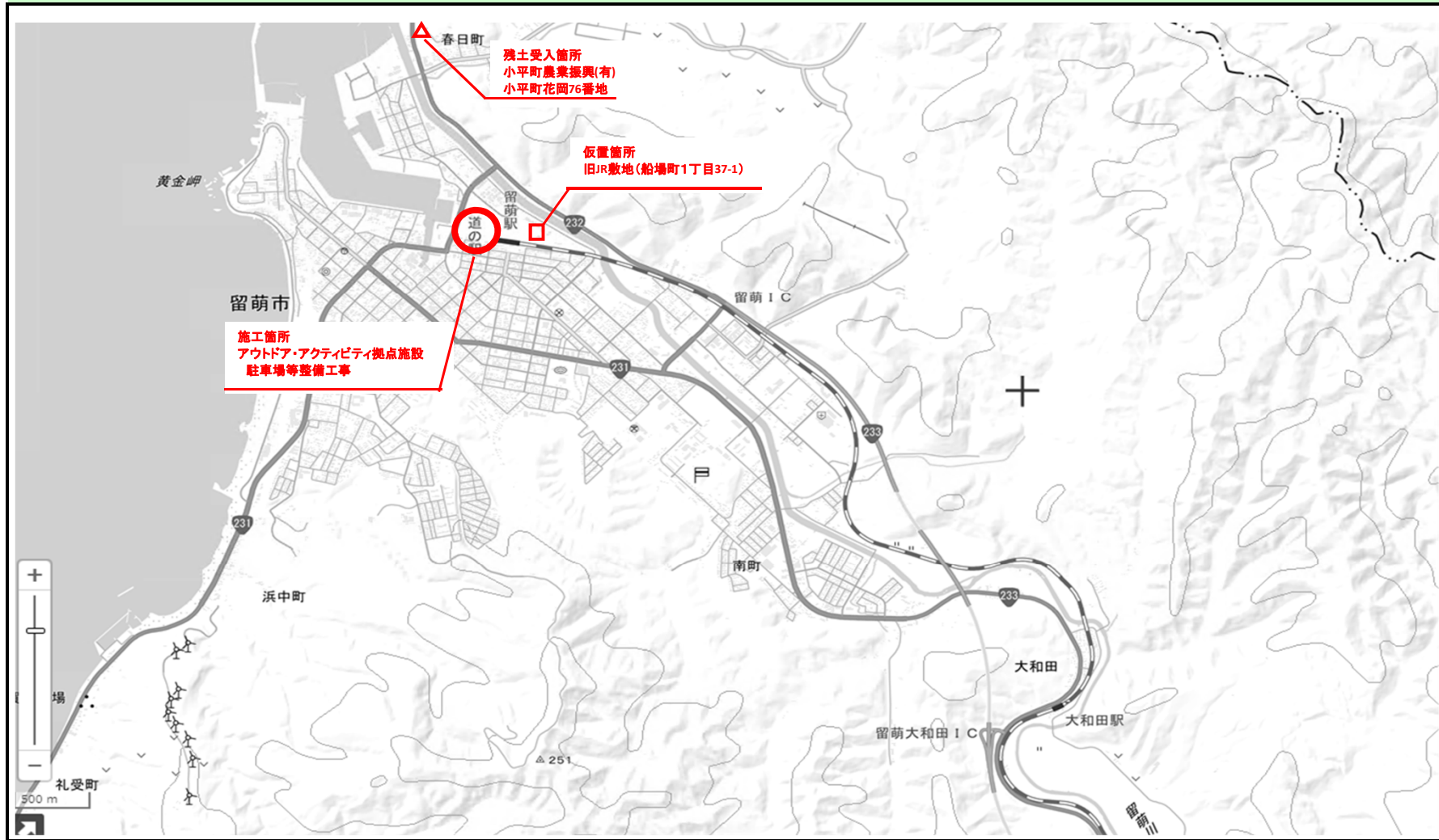
工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事																			
施工箇所	留萌市船場町2丁目																			
範囲	起	点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終	点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



<凡例>
旗揚線

施工箇所

留萌市

施工箇所塗り



現場発生品の仮置箇所

残土処理場箇所・仮置箇所

△ 小平町農業振興(有)

土取場箇所・発生土受渡箇所

その他指定する箇所（仮設ヤード等）

□ 公共残土仮置き

輸送起点等

表示情報（表示している情報は■）

- ☒ 施工箇所・施工範囲
- ☐ 現場発生品の仮置箇所
- ☒ 残土処理場
- ☐ 仮置場
- ☐ 土取場
- ☐ 発生土受渡箇所
- ☐ 輸送起点箇所
- ☐ その他

備 考

工 事 数 量 総 括 表

工事名 アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事

留萌市

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	公園緑地整備・改修	概要	
						基盤整備		
基盤整備		式		1				
敷地造成工		式		1				
掘削工		式		1				
掘削	土質：土砂	m3		1,400		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：D=13.4km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	m3		140		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：D=1.3km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	m3		1,300		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
法面整形工		式		1				
路面工内法面整形		m2		80		< 1 m2当たり > 法面整形	m 2	1
残土処理工		式		1				

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	基盤整備			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
整地			敷均し(ル-ズ)	m3		1,300		< 1 m3当たり > 整地	m 3	1
残土等処分			処分費：有り 【残土受入費（埋立） 受入場 所：小平町花岡 7 6 番地 】	m3		140		< 1 m3当たり > 残土等処分	m 3	1.6
施設整備				式		1				
雨水排水設備工				式		1				
作業土工				式		1				
(床掘り)			土質：土砂、施工方法：上記以外(小規模)	(m3)		(50)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し)			土質：土砂、施工方法：上記以外(小規模)	(m3)		(20)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(土砂等運搬)			土質：土砂、運搬距離：D=1.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級 】 【タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日 】	(m3)		(30)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
管渠工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事			(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修		
							工事区分	施設整備		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件		単位	数量
暗渠排水管		管種別：合成樹脂管、管径：250mm 【合成樹脂管 波状管 250mm 無孔管 内面平滑 耐圧強度3100N/m以上 長さ 5m/本 フラット管】 【砂 凍上抑制層用材料 】	m		93		< 1 m当たり > 暗渠排水管		m	1
							フィルター材		m 3	0.37
集水桝・マンホール工			式		1					
プレキャスト集水桝		型A上部桝(H=180/210) 【上部桝 型A 840×920×180/210mm 参考質量284kg/個】	箇所		2		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝 プレキャスト集水桝（材料費）		基 基	1 1
プレキャスト集水桝		型A下部桝(H=1000) 【下部桝 型A 840×840×1000mm 参考質量759kg/個】	箇所		6		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝 プレキャスト集水桝（材料費）		基 基	1 1
プレキャスト集水桝		型A中間桝(H=150) 【中間桝 型A 840×840×150mm 参考質量139kg/個】	箇所		2		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝 プレキャスト集水桝（材料費）		基 基	1 1
プレキャスト集水桝		型A中間桝(H=200) 【中間桝 型A 840×840×200mm 参考質量179kg/個】	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝 プレキャスト集水桝（材料費）		基 基	1 1

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	施設整備			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
プレキャスト集水樹			型A中間樹(H=300) 【中間樹 型A 840×840×300mm 参考質量260kg/個】	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
プレキャスト集水樹			型A中間樹(H=400) 【中間樹 型A 840×840×400mm 参考質量340kg/個】	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
プレキャスト集水樹			型A中間樹(H=700) 【中間樹 型A 840×840×700mm 参考質量581kg/個】	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
樹蓋			グレーチング 蓋、鋼製、T-25、普通目、上部樹用 【樹蓋 鋼製 T-25 型A上部樹用 普通目 470×520×56mm 参考質量 30kg/枚 R-1】	枚		2		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1
樹蓋			グレーチング 蓋、鋼製、T-25、普通目、下部樹用 【樹蓋 鋼製 T-25 型A下部樹用 普通目 710×710×71mm 参考質量 60kg/枚 R-5】	枚		4		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1
地下排水工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修					
						工事区分	施設整備					
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要				
								現場条件	単位	数量		
地下排水			管種別：浸透トレンチ管、管径：300mm、透水シート：有り 【浸透トレンチ管 300mm 1000mm/本 参考質量 106kg/本】 【コンクリート再生骨材0～40mm 運搬費含む(5.0km以下)】 【砂 凍上抑制層用材料】 【土木安定シート 不織布 引張強度490N/5cm以上級】	m		18		< 1 m当たり >	m	1		
								暗渠排水管				
								フィルター材			m 3	0.54
								フィルター材			m 3	0.06
								吸出し防止材設置	m 2	3.68		
園路広場整備工				式		1						
舗装準備工				式		1						
不陸整正			補足材：無し	m2		1,820		< 1 m2当たり >	m 2	1		
アスファルト舗装工				式		1						
凍上抑制層(車道部)			路盤材種類：コンクリート再生骨材0～80mm、厚さ：550mm 【コンクリート再生骨材0～80mm 運搬費含む(5.0km以下)】	m2		1,830		< 1 m2当たり >	m 2	1		
下層路盤(車道部)			路盤材種類：コンクリート再生骨材0～40mm、厚さ：200mm 【コンクリート再生骨材0～40mm 運搬費含む(5.0km以下)】	m2		1,850		< 1 m2当たり >	m 2	1		
仮設工				式		1						

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修		
						工事区分	施設整備		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要	
								現場条件	単位
工事用道路工				式		1			
敷鉄板			22×1,524×6,096(mm)設置・撤去 【敷鉄板賃料 22×1524×6096 180日以内 173kg/㎡ リース置場渡し】	m2		90		< 90 m2当たり > 敷鉄板設置・撤去 敷鉄板賃料	m 2 枚 90 10
直接工事費				式		1			
共通仮設費				式		1			
共通仮設費				式		1			
運搬費				式		1			
(仮設材運搬費)				(t)		(16)		< 1 t当たり > 仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等 積込み費(仮設材等) 取卸し費(仮設材等)	t t t 1 2 2
営繕費				式		1			

工事数量総括表

		工事名	アウトドア・アクティビティ拠点施設 駐車場等整備工事		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修				
						工事区分	共通仮設費				
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
快適トル				基・月		3		< 1 基・月当たり > 快適トル費用		式	1
現場環境改善費(率計上)				式		1					
共通仮設費(率計上)				式		1					
純工事費				式		1					
現場管理費				式		1					
工事原価				式		1					
一般管理費等				式		1					
工事価格				式		1					
消費税相当額				式		1					
工事費計				式		1					